

東葛しぜん研修会

谷津の自然～楽しもう里山の秋 考えよう里山の今

小坂裕子（白井市）

日 時：2020年9月19日9：30～13：00 天候：曇り

場 所：印西市南部（印旛日本医大駅～師戸川に続く谷津）

参加者：17名（東葛15名、協議会2名）

担当指導員：小川・山口・小坂

コロナの影響で2月末から観察会は中止に、担当指導員間で中止か決行かをメールで何度か話し合い、コロナ対策をとった上での研修会開催となりました。マスク着用で 密を避けるよう3班に分かれ 間隔を開けて出発。10分程度で草地に到着、足を踏み入れた途端に一斉にクルマバッタたちが飛び交い、参加者一同 重いリュックがあるのも忘れてバッタを追い、羽の車輪模様の観察を満喫。ドラマのロケ地 ドクターヘリ 横を通り過ぎると、目の前



稲刈りが始まった田んぼ 上空に猛禽が2羽

に広大な谷津田の風景が広がります。「この景色だけでも充分！」と参加者から感嘆の声があがり、その後は延々続く谷津田を歩きます。ヤマハギ・トキリマメの赤い実・ヒガンバナで秋の訪れを感じながら マユタテアカネの写真を撮りマユを見せて説明する方、ダンドボロギクの名の由来は「おぼろ月」と聞き 皆で感動し・・・参加者同士で教え合いながら進みます。ヤマホトギスやゲンノショウコの可憐な花、葉の上にニホンアマガエルが多くみられ 時々シュレーゲルアマガエルも。コース後半やお疲れのころに、アサギマダラが現れて、見ごろのセンニンソウで皆のテンションが上がります。

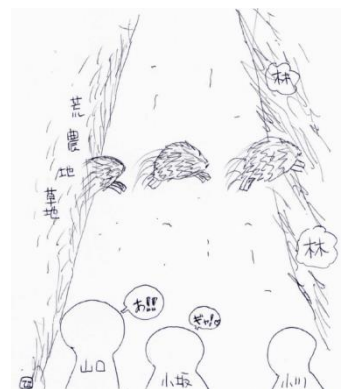
八月の下見でイノシシ幼獣3頭と遭遇しました。のどかな田園風景ですが、田の周囲には電気柵が張られています。下見を重ねながら、農作物の被害や問題点を感じ、「里山の秋を楽しむ」テーマに「考えよう里山の今」を加えることにしました。

当日も獣道や足跡があちこちに見られ スタ場やイノシシ用の大きなハコ罠も手の届くような距離に設置してあり「会ってみたいけれど怖いね」の声。そして農家のご苦労や野生動物と人間との共存の難しさの話題になりました。

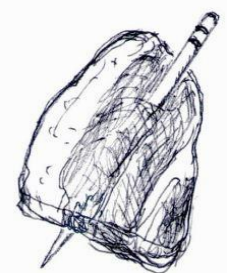
千葉県では年間2万6千頭（印西市30年度958頭）のイノシシが捕獲されているが 利用されるのは2%程度とのこと。反省会では、野生動物とのトラブルはお互いの為 避けたいものです。等身大のイノシシ絵を見ながらイノシシに遭遇したときの対処法を説明。小川さんからの差し入れイノシシチャーシューを感謝して美味しく頂きました。久しぶりの観察会は、エゴマの良い香り、オオスズメバチの羽音、涼しい秋の気温など、同じ場所にいるからこそ共感し感動できる活動となりました。参加者からも「コロナ感染対策をしながら活動したい、リフレッシュになった」という前向きな意見が多かった。先輩の皆様 ありがとうございます。



キノコが並んでる!!
菌輪(フェアリーリング)



8月の下見 イノシシ3頭



イノシシチャーシュー
脂に甘みあり美味しい